

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年10月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第24期第1四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日） |
| 【会社名】 | シンワアートオークション株式会社 |
| 【英訳名】 | SHINWA ART AUCTION CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 倉田 陽一郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区銀座七丁目4番12号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。） |
| 【電話番号】 | 該当事項はありません。 |
| 【事務連絡者氏名】 | 該当事項はありません。 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都江東区有明三丁目7番26号 |
| 【電話番号】 | 03（3520）0066（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 益戸 佳治 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第23期 第1四半期 累計期間 | 第24期 第1四半期 累計期間 | 第23期 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年 6月1日 至平成23年 8月31日 | 自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日 | 自平成23年 6月1日 至平成24年 5月31日 |
| 売上高(千円) | 714,675 | 97,079 | 1,359,448 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 90,568 | 82,122 | 57,436 |
| 四半期(当期)純利益又は四半期純 損失()(千円) | 90,728 | 83,119 | 76,905 |
| 持分法を適用した場合の投資利益又 は投資損失()(千円) | 201 | 4,527 | 971 |
| 資本金(千円) | 781,317 | 785,155 | 785,155 |
| 発行済株式総数(株) | 58,079 | 58,429 | 58,429 |
| 純資産額(千円) | 1,399,466 | 1,152,958 | 1,395,252 |
| 総資産額(千円) | 1,542,109 | 1,258,615 | 1,704,605 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は四半期純損失金額() (円) | 1,650.18 | 1,507.12 | 1,393.79 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | 1,598.74 | - | 1,357.96 |
| 1株当たり配当額(円) | - | - | 450 |
| 自己資本比率(%) | 90.6 | 91.2 | 81.6 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 第24期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクにおいて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間（平成24年6月1日～平成24年8月31日）におけるわが国の経済は、東日本大震災後の復興需要等により、緩やかな回復基調にありましたが、欧州の財政不安や円高の長期化、米国の景気停滞、電力の安定供給への不安等、景気の下振れリスクを内包する状況で推移しました。個人消費は所得の伸び悩みや雇用不安による停滞が継続しており、依然として景気は先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社は引き続き徹底したコスト管理のもとに高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりましたが、当第1四半期累計期間は、主力の近代美術オークションでの取扱高の減少に加え、前年同期間に戦略的に行ったプライベートセール及びその他事業の実績との比較で、取扱高、売上高、商品売上高ともに前年同期間を大きく下回ることとなり、取扱高317,989千円（前年同期間比75.8%減）、売上高97,079千円（前年同期間比86.4%減、内商品売上高30,730千円（前年同期間比94.7%減））となりました。

利益面におきましては、経常損失82,122千円（前年同期間は90,568千円の経常利益）、四半期純損失83,119千円（前年同期間は90,728千円の四半期純利益）となりましたが、これらの実績値は当事業年度の業績予想の範囲内で推移しております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

近代美術オークション部門の取扱高は168,840千円（前年同期間比59.8%減）、売上高は48,683千円（前年同期間比34.8%減、内商品売上高15,380千円（前年同期間は819千円））となりました。落札単価は前年同期間とほぼ同水準で推移しましたが、出品点数の減少により、取扱高、売上高が減少しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は55,955千円（前年同期間比1.5%増）、売上高は12,186千円（前年同期間比13.4%減、内商品売上高なし（前年同期間は2,085千円））となりました。落札単価は前年同期間に比べて減少しましたが、出品点数の増加により取扱高は微増しました。しかしながら商品売上高の減少により売上高は減少いたしました。

近代美術Part オークション部門の取扱高は26,395千円（前年同期間比56.9%減）、売上高は10,477千円（前年同期間比27.9%減、内商品売上高4,666千円（前年同期間は71千円））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

その他オークション部門の取扱高は37,993千円（前年同期間比66.6%減）、売上高は7,897千円（前年同期間比64.6%減、内商品売上高195千円（前年同期間比127.8%増））となりました。当期間はBags/Jewelry&Watchesオークションを1回開催いたしました。前年同期間に開催した長谷川利行コレクションの開催がなかったため、オークション開催回数の減少により取扱高、売上高が減少しました。

プライベートセールにおきましては取扱高は4,178千円（前年同期間比99.1%減）、売上高は3,768千円（前年同期間比99.1%減、内商品売上高3,693千円（前年同期間比99.1%減））となりました。前年同期間は、東日本大震災の影響による美術品流通の停滞を予測し、特にプライベートセールを戦略的に強化いたしましたので、当期間は前年同期間との比較で取扱高、売上高ともに大きく減少しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 180,000 |
| 計 | 180,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日) | 提出日現在発行数 (株) (平成24年10月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 58,429 | 58,429 | 大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお単元株制度は採用しておりません。 |
| 計 | 58,429 | 58,429 | | |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年6月1日～ 平成24年8月31日 | | 58,429 | | 785,155 | | 389,905 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 3,098 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 55,331 | 55,331 | - |
| 単元未満株式 | - | - | - |
| 発行済株式総数 | 58,429 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 55,331 | - |

【自己株式等】

平成24年8月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------------|------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| シンワアートオークション株式会社 | 東京都中央区銀座 7 - 4 - 12 | 3,098 | - | 3,098 | 5.30 |
| 計 | - | 3,098 | - | 3,098 | 5.30 |

上記のほか、平成24年8月29日付大阪証券取引所のJ-NET市場における終値取引による買付け5,500株があり、平成24年8月31日現在の自己株式所有数は8,598株（発行済株式総数に対する割合14.72%）になります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年5月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成24年8月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 977,832 | 559,351 |
| オークション未収入金 | 80,974 | 1,760 |
| 商品 | 240,189 | 312,464 |
| 前渡金 | 272,775 | 236,643 |
| その他 | 80,205 | 95,709 |
| 貸倒引当金 | 126 | 11 |
| 流動資産合計 | 1,651,851 | 1,205,918 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 9,942 | 9,433 |
| 車両運搬具(純額) | 344 | 316 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,701 | 1,559 |
| 有形固定資産合計 | 11,988 | 11,309 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 55,083 | 55,703 |
| 貸倒引当金 | 14,317 | 14,316 |
| 投資その他の資産合計 | 40,765 | 41,387 |
| 固定資産合計 | 52,753 | 52,696 |
| 資産合計 | 1,704,605 | 1,258,615 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,304 | 542 |
| オークション未払金 | 160,016 | 6,924 |
| 未払法人税等 | 3,315 | 799 |
| 賞与引当金 | 13,495 | 5,044 |
| 役員賞与引当金 | 16,423 | 2,642 |
| その他 | 85,398 | 61,754 |
| 流動負債合計 | 279,952 | 77,706 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 29,400 | 27,950 |
| 固定負債合計 | 29,400 | 27,950 |
| 負債合計 | 309,352 | 105,656 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年5月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成24年8月31日) |
|---------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 785,155 | 785,155 |
| 資本剰余金 | 389,905 | 389,905 |
| 利益剰余金 | 303,072 | 195,054 |
| 自己株式 | 87,856 | 222,826 |
| 株主資本合計 | 1,390,276 | 1,147,288 |
| 新株予約権 | 4,975 | 5,670 |
| 純資産合計 | 1,395,252 | 1,152,958 |
| 負債純資産合計 | 1,704,605 | 1,258,615 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 714,675 | 97,079 |
| 売上原価 | 433,894 | 39,510 |
| 売上総利益 | 280,781 | 57,569 |
| 販売費及び一般管理費 | 187,938 | 140,081 |
| 営業利益又は営業損失() | 92,843 | 82,512 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 79 | 83 |
| 為替差益 | - | 59 |
| 受取保険金 | 1,474 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 215 | 116 |
| 受取査定報酬 | 107 | 50 |
| その他 | 6 | 80 |
| 営業外収益合計 | 1,884 | 390 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 871 | - |
| 為替差損 | 3,192 | - |
| その他 | 95 | - |
| 営業外費用合計 | 4,159 | - |
| 経常利益又は経常損失() | 90,568 | 82,122 |
| 特別利益 | | |
| 未払配当金戻入益 | 500 | - |
| 特別利益合計 | 500 | - |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失() | 91,068 | 82,122 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 340 | 340 |
| 法人税等調整額 | - | 657 |
| 法人税等合計 | 340 | 997 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 90,728 | 83,119 |

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)及び当第1四半期累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

季節的変動要因

当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び、第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 2,620千円 | 678千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年8月30日 定時株主総会 | 普通株式 | 24,741 | 450 | 平成23年5月31日 | 平成23年8月31日 | 利益剰余金 |

当第1四半期累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成24年8月30日 定時株主総会 | 普通株式 | 24,898 | 450 | 平成24年5月31日 | 平成24年8月31日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年8月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、平成24年8月29日に当該取得を実施しております。この結果、当第1四半期会計期間において自己株式が134,970千円増加し、当第1四半期会計期間末における自己株式は222,826千円となっております。

(持分法損益等)

| | | |
|---------------------------------|---|---|
| | 前事業年度 (平成24年5月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成24年8月31日) |
| 関連会社に対する投資の金額 | 3,390千円 | 3,390千円 |
| 持分法を適用した場合の投資の金額 | 3,102千円 | 7,310千円 |
| | 前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) |
| 持分法を適用した場合の投資利益又は投資損失 ()の金額 | 201千円 | 4,527千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)2 | 合計 |
|-------------|----------------|----------------|--------------------|-----------------------|---------------|---------|-------------|---------|
| | 近代美術 オークション | 近代陶芸 オークション | 近代美術Part オークション | その他 オークション (注)1 | プライベート セール | 計 | | |
| 売上高 | 74,640 | 14,076 | 14,527 | 22,280 | 415,556 | 541,081 | 173,594 | 714,675 |
| セグメント 利益 | 64,038 | 8,583 | 10,655 | 14,780 | 116,305 | 214,363 | 66,418 | 280,781 |

(注)1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewellery&Watchesオークション、長谷川利行コレクションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|---------------|---------|
| 報告セグメント計 | 214,363 |
| 「その他」の区分の利益 | 66,418 |
| 全社費用(注) | 187,938 |
| 四半期損益計算書の営業利益 | 92,843 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間（自平成24年6月1日 至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)2 | 合計 |
|-------------|----------------|----------------|--------------------|-----------------------|---------------|--------|-------------|--------|
| | 近代美術 オークション | 近代陶芸 オークション | 近代美術Part オークション | その他 オークション (注)1 | プライベート セール | 計 | | |
| 売上高 | 48,683 | 12,186 | 10,477 | 7,897 | 3,768 | 83,014 | 14,065 | 97,079 |
| セグメント 利益 | 34,092 | 7,569 | 3,888 | 2,982 | 756 | 49,289 | 8,279 | 57,569 |

(注)1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewellery&Watchesオークションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 49,289 |
| 「その他」の区分の利益 | 8,279 |
| 全社費用(注) | 140,081 |
| 四半期損益計算書の営業損失() | 82,512 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額() | 1,650円18銭 | 1,507円12銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 90,728 | 83,119 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期 純損失金額()(千円) | 90,728 | 83,119 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 54,981 | 55,151 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 1,598円74銭 | - |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | - | - |
| 普通株式増加数(株) | 1,769 | - |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前事業年度末から重要な変動があったものの 概要 | | |

(注) 当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月12日

シンワアートオークション株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 滝口 隆弘 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 勝也 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシンワアートオークション株式会社の平成24年6月1日から平成25年5月31日までの第24期事業年度の第1四半期会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、シンワアートオークション株式会社の平成24年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。